



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社エアークローゼット 上場取引所 東
コード番号 9557 URL <https://corp.air-closet.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 天沼 聡
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 森本 奈央人 TEL 03-6452-8654
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	1,211	5.8	△82	—	△84	—	△78	—
2025年6月期第1四半期	1,145	20.5	65	743.4	61	1,517.3	60	1,572.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	△9.47	—
2025年6月期第1四半期	7.43	7.39

（注）2026年6月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	2,985	472	15.5
2025年6月期	2,752	554	19.6

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 463百万円 2025年6月期 540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,716	15.3	81	△20.9	46	△47.1	42	79.3	5.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	8,284,200株	2025年6月期	8,276,200株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	一株	2025年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	8,282,591株	2025年6月期1Q	8,199,400株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年11月11日（火）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

当該物流プラットフォームを活用した都度課金型のサービスで、結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」を2024年11月にスタートしており、2025年10月からは、ドレスのみならず、ブラックフォーマルやアウターなどに対象商品を広げ、「airCloset SPOT RENTAL」として認知拡大に努めています。

また、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおける受託が2件、店頭試着等でわずかに汚れや傷が付いた傷物商品等の再商品化業務を2件受託しております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当第1四半期累計期間においては、賃上げの定着等により個人消費に一定の回復がみられた一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。また、観測史上最高となる猛暑の影響が大きい期間となりました。

長引く猛暑によりairCloset事業の新規会員獲得は一時的に低調となりましたが、既存会員継続率は引き続き順調に推移いたしました。気温が低下した9月下旬以降は、広告宣伝強化も寄与し、会員獲得数は大きく回復いたしました。

また、自社SNSの強化や、友達紹介機能の強化、オフライン接点の拡大に向けた店舗の期間限定出店など、今後の月額会員数増加に向けた投資を積極的に行ったのに加え、メンズ向けサービス「airCloset Men's」の事前登録の開始やairCloset Mall事業におけるビックカメラ様との実証実験の開始など、全社としての成長加速に向けた動きも積極的に展開いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,211,407千円（前年同四半期比5.8%増）、EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費＋レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）168,780千円（前年同四半期比34.2%減）、営業損失82,616千円（前年同四半期は65,741千円の営業利益）、経常損失84,618千円（前年同四半期は61,115千円の経常利益）、四半期純損失78,513千円（前年同四半期は60,962千円の四半期純利益）となりました。

なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,612,718千円となり、前事業年度末に比べ45,772千円増加しました。これは主に、長期借入金の実行等により現金及び預金が28,354千円増加したことによるものであります。固定資産は1,372,821千円となり、前事業年度末に比べ186,771千円増加しました。これは主に、建物の増加148,717千円によるものであります。

この結果、総資産は2,985,540千円となり、前事業年度末に比べ232,543千円増加しました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,547,268千円となり、前事業年度末に比べ70,583千円減少しました。これは主に、レンタル用資産の仕入等により買掛金が63,023千円及び未払金が97,850千円増加した一方で、短期借入金の返済により短期借入金が231,250千円減少したことによるものであります。固定負債は965,285千円となり、前事業年度末と比べ384,580千円増加しました。これは、長期借入金が340,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,512,554千円となり、前事業年度末に比べ313,996千円増加しました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は472,985千円となり、前事業年度末に比べ81,452千円減少しました。これは、主に四半期純損失計上による利益剰余金の減少78,513千円によるものであります。この結果、自己資本比率は15.5%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、2025年8月14日に「2025年6月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,622	1,120,977
売掛金	365,246	309,674
商品	18,344	26,511
貯蔵品	6,539	9,055
前払費用	48,134	76,206
その他	45,954	78,604
貸倒引当金	△9,895	△8,310
流動資産合計	1,566,946	1,612,718
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	771,268	773,717
建物（純額）	152,218	300,936
機械装置（純額）	84,724	80,333
工具、器具及び備品（純額）	10,113	9,562
有形固定資産合計	1,018,324	1,164,549
無形固定資産		
ソフトウェア	191	47
無形固定資産合計	191	47
投資その他の資産		
敷金	142,430	183,121
関係会社株式	58,533	58,533
その他	31,000	31,000
貸倒引当金	△64,430	△64,430
投資その他の資産合計	167,533	208,224
固定資産合計	1,186,049	1,372,821
資産合計	2,752,996	2,985,540

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,775	227,798
短期借入金	572,500	341,250
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払金	181,884	279,734
未払費用	9,074	11,099
未払法人税等	530	662
前受金	240,925	247,124
預り金	25,380	22,255
契約負債	12,864	12,021
その他	9,918	5,321
流動負債合計	1,617,852	1,547,268
固定負債		
長期借入金	560,000	900,000
資産除去債務	20,704	65,285
固定負債合計	580,704	965,285
負債合計	2,198,557	2,512,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,280	56,908
資本剰余金	868,261	868,889
利益剰余金	△383,845	△462,359
株主資本合計	540,695	463,437
新株予約権	13,743	9,547
純資産合計	554,438	472,985
負債純資産合計	2,752,996	2,985,540

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
売上高	1,145,038	1,211,407
売上原価	559,916	674,404
売上総利益	585,121	537,002
販売費及び一般管理費	519,380	619,618
営業利益又は営業損失（△）	65,741	△82,616
営業外収益		
受取利息	132	850
営業外収益合計	132	850
営業外費用		
支払利息	4,758	2,852
営業外費用合計	4,758	2,852
経常利益又は経常損失（△）	61,115	△84,618
特別利益		
新株予約権戻入益	—	6,365
特別利益合計	—	6,365
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	61,115	△78,253
法人税等	152	260
四半期純利益又は四半期純損失（△）	60,962	△78,513

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当会計年度において、倉庫等の不動産賃貸契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、倉庫等の原状回復費用に関して見積りの変更を行っております。また、原状回復費用の見積り額が、賃貸借契約に関連する敷金の額を上回ることから、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた従来の簡便的な取り扱いによる処理から資産除去債務を負債計上する原則的な取り扱いに変更しております。これにより、資産除去債務は44,580千円増加しております。なお、当会計年度の損益に与える影響額は軽微であります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	104,079千円	169,719千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。